



ばとんぱす



教職員等記事
(平成15年4月導入)

編集・発行：熊本県教育庁教育政策課
〒862-8609 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号
Tel：096(333)2699
Mail：kyouikuseisaku@pref.kumamoto.lg.jp

令和6年度第1回熊本県国際バカロレア 教育プログラム啓発セミナーを開催しました。

令和6年6月21日（金）、県庁防災センターで「令和6年度第1回熊本県国際バカロレア教育プログラム啓発セミナー」を開催しました。当日は、ぐんま国際アカデミー中高等部より高松森一郎先生をお招きし、「IB教育のリアル：日々の学びと挑戦」という演題で御講演いただいた後に、IB修了生や現役IB生を交えたトークセッションも行い、参加者はIB教育に対する理解を深めました。

令和6年度第2回熊本県国際バカロレア 教育プログラム啓発セミナーを開催します。

令和6年4月から県立八代中学校で国際バカロレアMYP（ミドル・イヤーズ・プログラム）の試行が始まりました。そこで、多くの方々に国際バカロレア（IB）のことを知っていただくため、標記セミナーを開催します。皆様、ふるってご参加ください。

日時 令和6年8月4日（日）
会場 熊本城ホール会議室（熊本市中央区桜町3-40）
対象 小学生、保護者の方、一般の方、教育関係者
費用 無料（事前申込が必要）
内容

第2回申込 QRコード
申込締切：7月31日（水）



〈URL〉 <https://forms.office.com/r/PRx3xLw1pL>

- 1 受付 8:45～ 9:30
- 2 開会挨拶 9:30～ 9:35
- 3 基調講演 9:35～10:00

演題：『公立中高一貫校における国際バカロレア教育の実践について』

講師：伊芸 美紀 先生（高知県立高知国際中学校 教頭/MYPコーディネーター）

- 4 トークセッション 10:10～10:50

テーマ：『IB校の授業の実際（仮）』

伊芸 美紀 先生（高知県立高知国際中学校 教頭/MYPコーディネーター）

IB修了生

現役IB生

- 5 諸連絡 10:55～11:05
- 6 授業体験 11:15～12:00

- 中学校向けプログラムの導入レベル（小学5、6年生対象です）。
- 実施科目は「理科」と「社会」です。
- 事前選択制（上記QRコードから登録可能）です。
- 各教科定員20名（先着順）とします。
- 保護者の方、一般の方、教育関係者の見学も可能です。



国際バカロレアについて

国際バカロレア機構が提供する国際的な教育プログラムであり、グローバル人材の育成を目指している。

高校レベルのディプロマ・プログラム（DP）は国際的に通用する大学入学資格で、世界の大学入学選抜で広く活用。

～熊本県では、グローバル人材の育成を目標に、令和6年度入学生から県立八代中学校で国際バカロレア（IB）中等教育プログラム（MYP）の試行開始、その後、八代高等学校へのIB導入を目指しています～

高校進学
の前に！

令和7年度（2025年度）

熊本県育英資金予約募集

～貸付型の奨学金のご案内～

現在中学3年生
対象の募集

育英資金の予約募集とはなんですか？



育英資金とは、無利子の貸付型奨学金です。（将来返還が必要です。）
予約募集とは、高校入学前に申請の手続きをし、入学後すぐに奨学金が借りられるようにするものです。



いつからどのくらい借りられますか？



高校進学後の5月末から、毎月定額（8,000円～35,000円）を最大5年間借りられます。（金額・貸与期間は進学先により異なります。）*右上表図参照



他の奨学金との併用はできますか？



貸与型の奨学金との併用はできません。
※併願はできますが、1つのみ選択することになります。



貸与金額（月額）：[進学後](#)に各区分の金額のうち1つを選択

区 分		金 額
国公立	自宅通学	18,000円、13,000円、8,000円
	自宅外通学	23,000円、18,000円、13,000円
私 立	自宅通学	30,000円、20,000円、10,000円
	自宅外通学	35,000円、25,000円、15,000円

貸与期間：進学先の正規の修業年限の終期までです。

高等学校：3～5年間 高等専門学校：5年間

専修学校：1～4年間 ※いずれも課程によって異なります。

申請方法

在籍する中学校の奨学金担当者へ連絡してください。

書類の提出締切

9月初旬頃（学校によって異なります。）

※その他詳細については、学校から配付される募集のしおりをご覧ください。

※募集のしおりや申請書類は熊本県教育委員会ホームページ（QR参照）にも掲載しています。



この記事に関する問い合わせ先：高校教育課（096-333-2675）

令和6年度（2024年度）熊本県奨学のための給付金

授業料以外の教育費
を支援します！

- 給付金は支給されるものであり、**返還の必要はありません。**
- 奨学金や就学支援金(授業料)と一緒に利用することができます。

★どんな人が給付を受けられるの？

要件（すべてを満たす世帯が対象）

保護者	<input type="checkbox"/> ①生活保護（生業扶助）受給世帯又は ②非課税世帯（道府県民税所得割及び市町村民税所得割）
	<input type="checkbox"/> 熊本県内に在住
生徒	<input type="checkbox"/> 高等学校等就学支援金の対象校に在学している
	<input type="checkbox"/> 児童福祉法の措置費等の支給を受けていない

①や②に該当しない
が、家計急変により
減収した世帯でも給
付を受けられること
があります。

〈詳細はこちら〉
熊本県教育委員会HP



★給付額（年額）はいくら？

	全日制・定時制	通信制	専攻科
生活保護受給世帯	32,300円	32,300円	50,500円
非課税世帯 （第1子）	122,100円	50,500円	
非課税世帯 （第2子）	143,700円		

★申請時期や提出先は？

申請時期	6～7月頃 ※〆切は学校により 異なります。
提出先	在籍する各学校へ

前倒し給付を受けた1年生も
再度、申請が必要です。

この記事に関する問い合わせ先：高校教育課（096-333-2675）

※私立高校については、私学振興課（096-333-2064）へお問い合わせください。

公立中学校における部活動の地域移行について

熊本県教育委員会では、令和5年度から公立中学校における部活動の段階的な地域クラブ活動への移行（地域移行）を進めています。（熊本市を除く）
※これから4回（6月号、9月号、12月号、3月号）にわたって地域移行についての紹介をします。

なぜ地域移行するの？

学校教育の一環として行われる部活動は、生徒の自主的で多様な学びの場として、教育的意義の高い活動です。しかし、少子化が進展する中、部員数の減少や単独校での大会参加が厳しくなるなど、これまでと同様の体制で運営することが困難となってきています。

このような問題に対し、将来にわたり、子供たちがスポーツや文化芸術活動に親しむことができる機会を継続的に確保していくために地域移行を進めていきます。

学校の部活動と地域クラブ活動の違いは？

	学校部活動	地域クラブ活動
指導者	学校の教員、部活動指導員 外部指導者	地域の指導者 (希望する学校の教員を含む)
活動場所	在籍する学校	学校施設、公民館 地域の体育・文化施設等
対象	在籍する学校の生徒	クラブの加入者
経費	部活動運営費等	指導者への謝金、会場使用料 保険料等

地域移行のメリットは？

地域のいろいろな年代の人と交流することができる！

様々な指導者からニーズに応じた指導を受けることができる！

複数の種目に取り組むことができる！

他校の生徒と一緒に活動することができる！

いつまでに地域移行するの？

本県では、令和7年度末までに休日の地域移行の完了を目指しています。（熊本市を除く）地域の実情に合わせた段階的な地域移行を進めます。

この記事に関する 問い合わせ先：運動部活動：体育保健課（096-333-2710）
文化部活動：義務教育課（096-333-2689）



市町村立
学校

スーパーティーチャーの活動が、教員一人一人の授業力の向上につながっています

「スーパーティーチャー」とは、子供たちへの指導・支援の他、授業力の向上のために教員に対して助言等を行う、指導力の優れた教員です。県内の各管内に配置しており、市町村立学校では52名（小学校31名、中学校20名、義務教育学校1名）のスーパーティーチャーが、公開授業や研修会等で活躍しています。

（※元スーパーティーチャーである指導力向上アドバイザーも2名配置）

スーパーティーチャーの主な活動

- 所属校での授業公開
- 授業参観及び指導・助言
- 各種研修会等の講師（オンライン研修も含む） など

【※公開授業及び研修会等への参加者 R4:8,385人→R5:11,321人】

○公開授業(外国語)の様子



教員一人一人の授業力の向上に向け、スーパーティーチャーによる公開授業を行い、事後の研修会で参加者同士が研鑽を深めています。

○情報交換会の様子



スーパーティーチャーの活動の充実に向け、情報交換会を行い、効果的な指導等について意見の交流や情報の共有をしています。

研修等を受けた先生方の声

先生がどのように授業を構想されているのかが分かって、とても参考になりました。単元を通して、子供たちにどんな力を付けたいのか、そのためにどのように授業を組み立てていけばよいのかを考えていくことが大切だと分かりました。

もっとも心に残ったのは「生徒も先生も楽しむ」という言葉でした。この中で、生徒が学びを自覚できるよう、教材研究を工夫しようと思いました。「学び」の根っこには「わくわく」が大切だと気がきました。



各スーパーティーチャーの紹介や公開授業の予定、学校からの依頼方法等については、県のHPをご覧ください。



この記事に関する問い合わせ先：義務教育課（096-333-3688）

つながる
ひろがる
ふかまる

オンラインでの学びの場！

「『熊本の学び』わくわくサークル」の紹介

授業で困ったり悩んだりしていることはありませんか？

「『熊本の学び』わくわくサークル」では、各教科の授業等の悩みや課題について、参加者で協議や情報交換を行い、その悩みの解決につながるヒントやアイデアを共有し、先生方の横のつながりを広げることを通じて、教員一人一人の授業力の向上を目指しています。

オンラインで学べる研修ですので、気軽に参加でき、参加者も年々増加しています。先生方の参加をお待ちしています。

今回もヒントを得られた！すぐにでも実践したい！



令和5年度実施内容

第1回では、「やってみたい」と思うような授業実践のワンポイントを指導主事が紹介し、参加者の悩みや疑問等の交流を行いました。

第2回では、スーパーティーチャー等の実践に学び、夏休み以降の実践事項のヒントが得られました。

※中学校に関する研修内容 他2回



オンライン配信の様子

参加した先生方の声

先生方との意見交換の場は貴重でとても参考になり、悩みの解消にも繋がりました。

学校で教科担当が一人で、なかなか話し合える機会が少なく、教材や授業づくりについて学ぶことができました。

具体的に授業改善のアイデアをいただきました。明日以降の授業に役立てようと思います。

第2回に開催されたスーパーティーチャーの実践紹介は、とても興味深く学ぶことができました。若い先生方にも聞いていただくと、教材研究の視点や方法などのヒントになると思います。



令和6年度実施内容のお知らせ

第1回は、6月下旬に開催予定です。中学校に関する研修内容に加え、今年度は小学校に関する研修内容も実施予定です。授業改善に関する内容やスーパーティーチャーの実践紹介などを予定しています。詳しくは、本県HPに掲載します。



この記事に関する問い合わせ先：義務教育課（096-333-2688）

くまもとの笑顔・未来を創る児童生徒表彰

〈「くまもとの笑顔・未来を創る児童生徒表彰」に込められた思い〉

- ・誰かのために、ひたむきにがんばっている子供たちを励ましたい
- ・熊本を笑顔にする善い行いを、広く県民にお知らせしたい



県教育委員会では、昭和45年から児童生徒の善い行い（社会奉仕活動や人命救助、消火活動等）を表彰しています。

子供たちを「認め、ほめ、励まし、伸ばす」の姿勢で見つめ、多くの子供たちのよさやがんばりにスポットを当てていきます。ただいま、学校から多くの推薦を募集中です。

こんな活動をしている児童生徒はいませんか？

- ・登下校中のごみ拾いを継続して行っている。
- ・挨拶運動、交流活動等で地域の方を元気にしている。
- ・困っている高齢者へ支援を行った。
- ・自分たちで育てた花苗を地域に植え、環境美化に貢献している。
- ・学校全体で地域貢献活動を行っている。
- ・自分たちでボランティア組織をつくり、さまざまな活動を行っている。
- ・火災に気付き、消火活動を行った。
- ・倒れている人を発見し、救急車を呼んだ。



笑顔うまれる子供たちの善い行いをお待ちしています！



令和5年度の特別賞、入賞者の詳細は熊本県教育委員会のHPでご覧いただけます。



この記事に関する問い合わせ先：義務教育課（096-333-2689）

どなたでも利用可

生きる力を育む体験活動

熊本県立青少年の家

宿泊利用の他、日帰り利用も可

家族連れや友人同士での利用もOK！

『体験活動や読書、お手伝いを多くしていた子供は、自尊感情や外向性、精神的な回復力が高くなる傾向が見られる。』という調査結果があります。（令和2年度青少年の体験活動に関する調査研究結果報告（文部科学省）による）

県立青少年の家（天草青年の家、菊池少年自然の家、豊野少年自然の家、あしきた青少年の家）では、立地条件を活かした『生きる力を育む体験活動』を実施しています。



県立青少年の家で実施している体験活動

- 野外活動
 - マリン活動、川あそび、キャンプ、登山など
- 創作活動
 - 焼き杉、ホットホビー、カラーキャンダル、切り絵など
- その他
 - ナイトゲーム、キャンドルの集い、レクリエーション、交歓活動など

<http://www.k-seishonen.com>

熊本県立青少年の家

検索



QRコードからもアクセスできます。

この記事に関する問い合わせ先：社会教育課（096-333-2697）

「親の学び」オンデマンド講座

社会教育課では、くまもと家庭教育支援条例に基づき、子供たちの基本的な生活習慣について楽しく学ぶことができる映像資料（「親の学び」オンデマンド講座）を作成・配信しています。

映像資料（「親の学び」オンデマンド講座）はYouTube限定配信となっており、各コンテンツの二次元コードからいつでも、どこからでもアクセスできます。

「親の学び」オンデマンド講座とは

科学的知見に基づく子育てのポイントや豆知識について、短時間の動画視聴で、いつでもどこでも楽しく学ぶことができる講座です（6～8分程度）。

※対面講座のプログラムの一つとしても活用できます。



New contents! 第5弾「体験活動編」



体験活動により高まる自己肯定感や自律行動習慣、探究力

【子どもたちの体験活動により高まる自己肯定感や自律行動習慣、探究力】について、楽しく学ぶことができるように「くまもと『親の学び』講座」をオンデマンド形式でお届けします。

体験活動編

今回の動画も、これまでの「親の学び」オンデマンド講座映像資料をシリーズ化したものであり、体験活動等に関する意識調査（文部科学省調査）等をもとに分かりやすく解説しています。



その他 lineup



睡眠編



デジタル機器編



スマホ編



朝ごはん編



部落差別をはじめあらゆる差別をなくす 令和6年度(2024年度)熊本県人権子ども集会



オンデマンド配信期間

令和6年(2024年)10月24日(木)～令和7年(2025年)1月31日(金)

内容

- (1) 開会
- (2) 子ども実行委員挨拶
- (3) 体験・活動報告
- (4) 子ども実行委員会からの集会メッセージ発表
- (5) 閉会

令和5年度の集会について

令和5年度(2023年度)視聴数
視聴校数 545校(100%)
視聴人数 約67,000人



体験・活動報告の1コマ

この記事に関する問い合わせ先：人権同和教育課 (096-333-2702)



夏休みは図書館を使いになせ！ 熊本県立図書館 子ども図書室



熊本県立図書館子ども図書室では、夏休み期間中に子どもたちが楽しめるイベントを行います。子ども図書室閉室後のちょっと暗い時間にひっそり開催する「こわーいおはなし会」、日頃は入ることができないバックヤードを含めた図書館の隅々をガイド付きで回れる「図書館たんけん隊」、高校の理科の先生がプロの技術を駆使して教えてくれる「科学あそび」など盛りだくさん。

自由研究で困ったときも、図書館に行けばヒントが見つかるはず！

※イベントはいずれも定員制で事前予約が必要です。



こわーいおはなし会



図書館たんけん隊



科学あそび



平和を語りつぐおはなし会

この記事に関する問い合わせ先：熊本県立図書館 (096-384-5000)

くまもとe-books

はじめました♪

令和6年3月から熊本県立図書館では、教育を支援することをコンセプトに、様々な電子書籍やオーディオブックを閲覧できる電子図書館サービスを始めました。

こどもから大人まで、県立図書館の利用者であれば、インターネットを介して、いつでもどこでも利用いただけます。



県立図書館ホームページ



電子図書館イメージ画像

Myライブラリのログインには利用登録が必要です。
利用登録（県立図書館の貸出カードやオンラインカード）は、こちらの方法で申込ができます。
①県立図書館の窓口
②県立図書館ホームページの電子申請
③郵送

県立図書館ホームページ
<https://www2.library.pref.kumamoto.jp/>



児童・生徒向けの学習支援をはじめ、絵本、児童書、子育て、食育、教育情報、就労支援などの電子書籍やオーディオブックがあります。

英語の書籍や日本語を学ぶ方向けの日本語学習書籍も多数用意しています！

建築家 安藤忠雄さん 贈呈

こども本の森 熊本

2024.4.8 OPEN

入館無料

入館時間

① 9:30 ② 11:30 ③ 13:30 ④ 15:30

各回定員50名 予約優先・入替制

約1万冊の本が10のテーマに分けられて並んでいます。



オープニングセレモニー



くまモンへお手紙送れます！



四季の自然を感じながら読書



オリジナルグッズも販売

視察・団体利用をご希望の方は
お電話にてご相談ください。

こども本の森 熊本
Kumamoto Children's Book Forest



熊本市中央区出水2丁目5-1 熊本県立図書館 南側



096-240-1500



<https://kodomohonnomori.kumamoto.jp>



@kumamoto_childrensbookforest



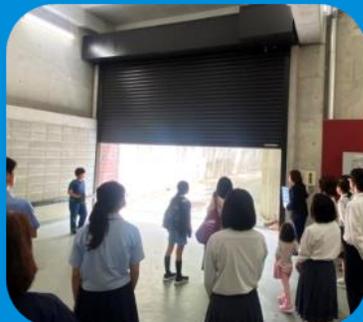
HP



Instagram

この記事に関する問い合わせ先：こども本の森課（096-240-1500）

美術館のヒミツ探検 美術鑑賞入門&バックヤードツアー



◆開催概要◆

5月3日(金・祝)
10:30~12:00

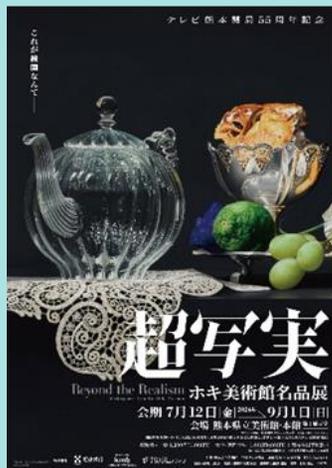
熊本県立美術館(本館)

◆ワークショップ内容◆

今年度初めてのワークショップは、5月3日(金・祝)開催の「かぞくでアート☆」。アートカードを使った鑑賞ゲームを楽しんだ後は、空っぽの展示室やバックヤードを見学しました。普段は見る事が出来ない美術館の裏側に、参加者の皆さまからは驚きの声があがりました。次回の「かぞくでアート☆」は、8月を予定しています！

◆次回のワークショップ◆

7月28日(日)開催 子ども美術館



鑑賞ガイドも
無料配布！
(数に限りがあります)

← 展覧会ポスター

特別展「超写実 ホキ美術館名品展」

7月12日(金)~9月1日(日)開催 ※高校生以下無料

「超写実 ホキ美術館名品展」関連イベントとして、7月28日(日)にワークショップ「子ども美術館」を開催します。展覧会をもっと楽しむための制作ワークショップです。

※事前申込制。詳細は約1か月前に当館HPでお知らせします。

古代の知恵を学ぼう

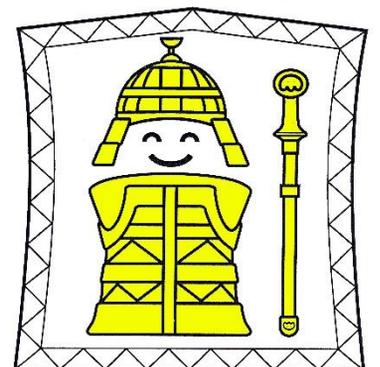
山鹿市にある県立装飾古墳館では、令和6年度の定期体験教室を開催しています。全7回のシリーズで「琥珀勾玉づくり」や「銅鏡づくり」、「古代絵画教室」など当館のオリジナル体験メニューで皆様をお待ちしています。



左の写真は、古墳時代の装飾古墳に描かれた文様を描いている「古代絵画教室」の様子です。本物の石版に復元した顔料を使う体験は、当館でのみ体験できるメニューです。右の写真は完成した作品です。

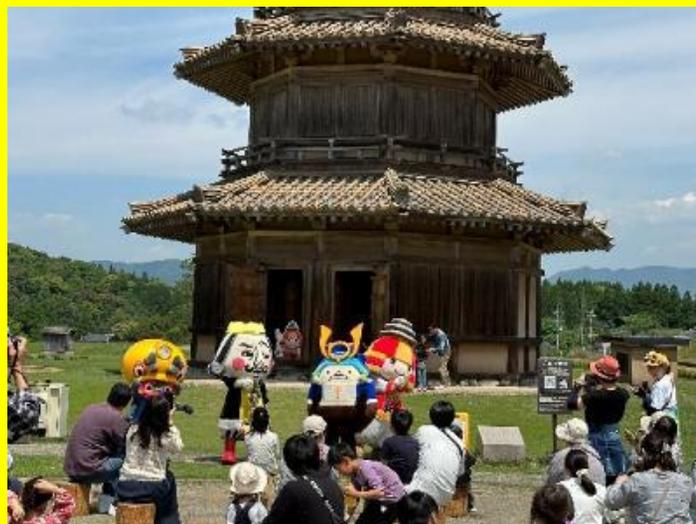
令和6年度に実施する体験の内容、申込期間、参加費用などは、県立装飾古墳館のホームページ上で公開しています。「埴輪づくり」「ナイトミュージアム」など楽しく学べるメニューがありますので、ぜひホームページをご覧ください。

問合せ先：熊本県立装飾古墳館
山鹿市鹿央町岩原3085番地
TEL：0968-36-2151 FAX：0968-36-2120
メール：soshokukofun@pref.kumamoto.lg.jp
HP：<https://kofunkan.pref.kumamoto.jp/>



GWイベント『みんなおいでよ！鞠智城』を開催！

歴史公園鞠智城・温故創生館では、5月3日（金）にGWイベント「みんなおいでよ！鞠智城」を開催しました。当日は説明ボランティア会による復元建物ガイド、鞠智城イメージキャラクターころう君とその仲間たちの楽しいショーや弓矢体験などに参加していただきました。



ころう君と仲間たちによる楽しいショー



大人気!!弓矢体験



雨の日も館内からスケッチできました

GW中は天気にも恵まれ、一万人の皆様にご来城いただきました。また、4月27日から5月12日にかけて、第8回鞠智城スケッチ大会と鞠智城クイズラリーも開催しましたが、こちらにも多数ご参加いただきました。

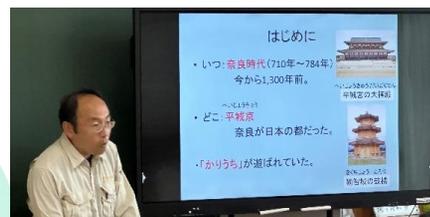
なお、スケッチ大会入賞作品は、8月末まで館内展示の予定です。ぜひご覧になりにお越しく下さい。



夏休みは鞠智城
で工作フェスタ
があるコロよ～

古代のボードゲーム「かりうち」で遊びました！

5月28日に国立文化財機構 奈良文化財研究所からゲームトレーナーをおよびして、古代のボードゲーム「かりうち」を山鹿市立菊鹿小学校6年生と一緒にに行いました。ゲーム後にはかりうちが復元された経緯や、地元の鞠智城について本物の土器を手にとって歴史学習を行いました。



奈良文化財研究所職員による説明



「かりうち」を楽しみました

どんでん返しがおもしろい！

作戦を考えるのが楽しい！

子ども達の感想から

チームでするから楽しい！

「5」が出ると気持ちいい！



学芸員の仕事や鞠智城で発掘された土器についての話を聞き、実際に触れました。

かりうち体験では4名1組の班ごとに戦略を考え、復元された1300年前のゲームを楽しむことができました。学習を通して、古代の人々の思いを想像したりくらしを考えたりしたりすることで、子ども達の古代への関心の高まりを感じました。

古代のボードゲーム「かりうち」とは・・・

奈良時代の文献で大流行した記事が残るゲームの一種です。平城京から出土した遺物や文献を研究し、韓国の遊び「ユンノリ」を参考にして、奈良文化財研究所が復元したボードゲームです。



かりうちについてはコチラ↑

※かりうち体験学習を希望される方は、歴史公園鞠智城・温故創生館までお問い合わせください。

この記事に関する問い合わせ先：歴史公園鞠智城・温故創生館（0968-48-3178）